

人権尊重都市鳥取市の実現をめざして

男女共同参画白書から考える固定的な性別役割分担意識

問 本庁舎人権推進課（43 番窓口） 0857-30-8071 0857-20-3945
 問 本庁舎男女共同参画課（43 番窓口） 0857-30-8076 0857-20-3945

内閣府が令和 6 年 12 月に全国の 18 ～ 39 歳の男女 1 万人を対象に実施した意識調査において、固定的な性別役割分担意識の 1 つである「夫は仕事、妻は家庭」と

調査結果から見る個人や地域への影響

固定的な性別役割分担意識とは、個人の能力とは関係なく、「男は仕事・女は家庭」というように性別を理由にして役割を固定的に分ける考え方のことです。内閣府は毎年、男女共同参画社会※の現状などをまとめた「男女共同参画白書」を発表しています。令和 7 年版の白書の中で固定的な性別役割分担意識について言及がされており、調査結果を踏まえながら個人や地域にもたらす影響を考えます。

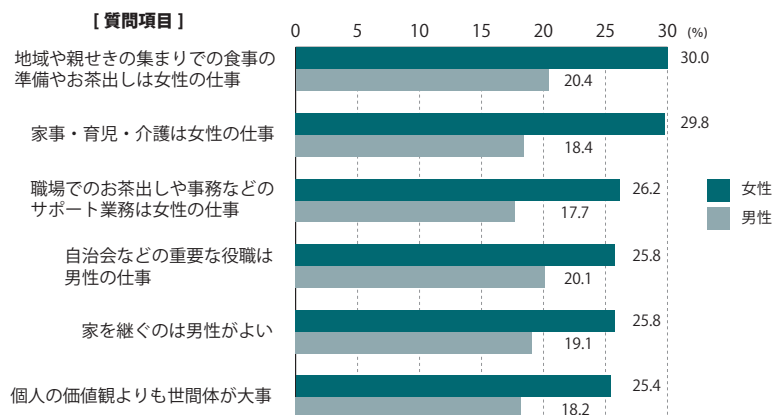
この制度は災害が発生した時に近所で助け合うことを目標としたものです。災害時は自分の命は自分で守る「自助」が基本となりますが、隣近所が互いに助け合う「共助」の精神で対応することも大変重要になります。地域のみなさんへ

図 1 は、この調査結果の抜粋です。女性だけでなく男性も、固定的な性別役割

近年は、若者が地方から都市部へ転出する傾向が強くなっており、特に若い女性が多い状況です。この理由の一つには、今も地域社会に固定的な性別役割分担意識が残っており、それに基づく経験をすることが考えられます。

本市では、鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」で、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発展示を行っています。また、関連する講座の開催や図書の貸し出しなど、男女共同参画への理解促進に向けた普及啓発活動を行っています。ぜひお立ち寄りいただき、こうした問題の解消に向けて、ともに考えましょう。

本市の取り組み



シリーズ @じんけん

Vol.457

「男女共同参画白書」をご存じでしょうか。今回は白書をもとに、今も残る固定的な性別役割分担意識について考えていきます。



※男女共同参画社会とは
 性別にかかわらず、互いに尊重し合い、一人ひとりが個性や能力を十分に発揮できる社会のことをいいます。

◀図 1 出身地域における固定的な性別役割分担意識等の有無（男女別）

- ・令和 7 年版男女共同参画白書内一部抜粋
- ・「中学校卒業時点であなが住んでいた地域で、質問項目のようなことはありましたか。最もあてはまるものをお選びください。（それぞれ 1 つずつ）」の質問に対し、「よくあった」「時々あった」と回答された割合。

避難行動要支援者支援制度

をご存じですか？

問 本庁舎地域福祉課（13 番窓口）
 0857-30-8202 0857-20-3906

本市では、災害時に自ら避難することが難しく、特に支援を必要とする高齢者や障がいのある人など（**避難行動要支援者**）が安全かつ速やかに避難できる体制を整えるため、「避難行動要支援者支援制度」を推進しています。

避難行動要支援者支援制度とは

避難行動要支援者支援制度とは、避難行動要支援者が避難を支援する人（支援者）や緊急連絡先などの情報を市に登録し、その情報を地域の支援組織や支援者に提供・共有しておくことで、災害時に情報伝達、避難誘導、安否確認など、地域の支援を受けられるようにする制度です。

登録方法

登録を希望する人、または既に登録済みで登録内容に変更がある人は、お

住まいの地域の自治会（自治会未加入の人は民生委員・児童委員）にご相談のうえ、地域福祉課に申請書を提出してください。登録申請書は、地域福祉課、各総合支所市民福祉課、または本市公式ウェブサイトから入手できます。



地域のみなさんへ

この制度は災害が発生した時に近所で助け合うことを目標としたものです。災害時は自分の命は自分で守る「自助」が基本となりますが、隣近所が互いに助け合う「共助」の精神で対応することも大変重要になります。地域のみなさんへ



避難行動要支援者支援制度

この制度を築いていく中で、支援を必要とされている人を見守ることのできる地域住民同士の結びつきと、お互いに助け合える地域づくりを目指します。

